

データで描く未来の医療:リアルワールドエビデンスの可能性

臨床試験の効率化に向けてReal World Data（RWD）の活用が注目されていますが、まだ多くの課題が残されています。本シンポジウムでは、産・官・学・医の最先端で、RWDの利活用に取り組んでおられる先生方をお招きし、現在の取り組みや直面する課題、今後の展望等について御講演いただきます。

日時

2025年2月21日(金) 13:00～17:00(予定)

オンライン開催

プログラム

開会挨拶 村上 卓道 神戸大学医学研究科長・医学部長
開催趣旨 眞庭 謙昌 神戸大学附属病院長・副学長 デジタルイノベーション推進センター長

13:10～14:30【第1部 リアルワールドデータが拓く新たな医学研究の潮流】

基調講演 1 内閣府 BRIDGE 事業「医療デジタルツインの発展に資するデジタル医療データバンクの構想」の紹介
浜本 隆二 国立がん研究センター研究所 医療AI研究開発分野 分野長
内閣府 BRIDGE プログラムディレクター
基調講演 2 承認審査等におけるリアルワールドデータ活用推進に向けた取組みと将来展望
陰山 卓哉 神戸大学医学研究科 客員教授

14:40～15:40【第2部 医療分野のデータシェアと2次利用推進に向けた基盤構築】

特別講演 1 ひょうご発の多機関医療データ連携への挑戦
宮田 吉晴 神戸大学医学研究科 AI・デジタルヘルス科学分野 特命准教授
特別講演 2 次世代医療基盤法に基づく電子カルテデータを用いたデータベース研究事例紹介と今後の展望
松浦 繁 TOPPANホールディングス ヘルスデータ事業推進センター 部長

15:50～16:50【第3部 レジストリ研究が拓く新たな臨床研究の可能性】

特別講演 3 小児急性白血病レジストリの到達点と新たな展望
長谷川 大一郎 兵庫県立こども病院 診療部長
特別講演 4 「小さな未来の日本」淡路島の心不全レジストリ KUNIUMI
藤本 恒 淡路医療センター 循環器内科 医長
閉会挨拶 篠原 正和 神戸大学医学研究科 教授

申込方法

以下の申し込みフォームまたはQRコードからお申し込み下さい
URL:https://www.med.kobe-u.ac.jp/cmd/sympo2024_form.html

参加費無料 どなたでもご参加頂けます

